

宮城厚生協会泉病院 2023 年 4 月病院建設着工 きらきら発電が屋上に太陽光発電の設置を要望

宮城厚生協会泉病院(仙台市泉区長命ヶ丘 2 丁目)が 2023 年 4 月新病院建設着工、2024 年 4 月より新病院の利用を開始し、2024 年 12 月全体工事を終えるとの工程を発表(新病院建設ニュース 1 号、6 月 7 日付)しました。

NPO きらきら発電では 6 月の役員会で「きらきらが所有する形態の太陽光発電所」を泉病院の敷地内に設置することを公益財団法人宮城厚生協会に申し入れることを確認。6 月 27 日水戸部理事長と広幡事務局長が同法人を訪問。宮城県や仙台市の補助金制度(第三者所有モデル太陽光発電導入支援事業補助金)を活用して NPO きらきら発電が 2024 年度内に泉病院屋上などの敷地内に太陽光発電設備を設置することを許可していただくよう、内藤理事長・平賀専務に申し入れました。



宮城厚生協会の了解が得られたら、今年 8 月頃的设计図完成を待って、太陽光パネル設置場所や設置パネル量の検討に入り、多くの市民に建設募金を募り、2024 年度の事業として 2024 年 4 月宮城県および仙台市に補助金を申請し、2024 年 10 月までに完成させたいと考えています。

上写真は泉病院には関係ありませんが、屋根設置型と駐車場設置型の両方を採用した会社の写真です。泉病院でも屋根や駐車場に太陽光パネルを設置できたらと、想像がふくらみます。

第三者所有モデル太陽光発電導入支援事業とは

自家消費型太陽光発電設備(10 kW以上)をファイナンスリースかオンサイト PPA(太陽光パネル無償設置による電力販売契約)方式で設置した場合、PPA 事業者・リース事業者に補助金を宮城県が提供するという支援事業です。補助額は 1 kW当たり 5 万円で 300 万円が上限です。仙台市も現在同様の補助金制度を年度内に発足させようと準備中です。

きらきら発電が泉病院に「第三者所有モデル太陽光発電」を設置した場合、きらきら発電と泉病院の間で 10 年以上の電力売買契約書を結ぶことになります。

PPA 方式で昨年度補助金を受けたのが、浦井彰氏らが運営するみやぎ地域エネルギー合同会社(設置場所=生活協同組合あいコープみやぎ)、株式会社プロジェクトウサミ(設置場所=加美町中新田公民館)などです。

自家消費型太陽光発電設備の自家所有にも補助金制度あり

宮城県は上記の支援事業のほかに、みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業(再生可能エネルギー等設備導入事業)による補助金もあり、こちらは自家所有型の太陽光発電設備が対象となります。補助金限度額が 2 千万円、補助率は 1 / 3 (SBT 条件クリアすれば補助率 1 / 2)。たとえば 50 kW のカーポート太陽光発電を 2,000 万円で設置した場合、666 万円補助金が出ます。多賀城 5 号機は年間 76,000kwh の発電なので、1kwh10 円として 20 年間で 1,520 万円の収益。元手が取れます。

きらきら発電市民共同発電所ニュース

2022年7月号 第91号

〒981-3215 仙台市泉区北中山3丁目17-12

電話 070(2010)3777

HP kirakirahatuden.com/

Eメール hirohata3777@outlook.jp

きらきら発電開所式から8年が過ぎました 10年目の大事業、泉10号機建設にご協力を！



水戸部理事長と広幡事務局長は7月1日(金)泉病院長谷部院長に会い、太陽光発電設置の要請をしました。水戸部理事長は、「太陽光発電の導入だけでなく、ボイラー・暖房などの仕組みを検討し、新病院建設で2050年カーボンゼロ社会をめざすという柱を掲げてほしい」と強調。広幡は「第三者所有(PPA)方式できらきらが太陽光発電を設置し、泉病院自身も自家消費型太陽光発電を建設するという、併設型を検討してほしい」と要望。長谷部院長は「図面や工費の検討で困難な面もあるが、趣旨を尊重し、慎重に検討していきたい」と回答。

泉病院と宮城厚生協会の同意が得られれば、「2024年度泉10号機建設」という課題が現実化します。きらきら発電を開設して10年目の大仕事です。具体的な内容は図面完成後に明らかになりますが、可能であれば蓄電池併設型の太陽光発電を導入できればと夢を広げています。多くの市民のご協力をお願いして、事業の成功に向かって進みたいと考えています。

みんな電力から電気を買うと「きらきら」に協力できます

きらきら発電の電気が使え、月100円の支援金がきらきらにはいる

きらきら発電は女川原発再稼働を強引に推し進める東北電力には電気を売らない方針を今年度の総会で確認し、従来から売電先となっているみんな電力(亘理発電所)やパルシステム(井土浜発電所)に更に切り替えていくこととし、今年度新たに多賀城発電所の売買契約をみんな電力とかわしました。みんな電力はすでに東北地区の一般家庭を小売りの対象としています。

みんな電力の申し込み先は「<https://minden.co.jp>」。みんな電力は発電産地応援事業を行っていて、みんな電力から電気を買うときらきら発電を含む発電事業者に1月100円の支援金が届くシステムとなっています。宮城県内の発電事業者一覧をのぞくと、きらきら発電のほかにおながわ市民共同発電所・ひっぽ電力株式会社など私たちの仲間の名が出てきます。その中から自分

の応援したい発電事業者を毎月選ぶことが可能です。

きらきら発電を応援したい方は電力の購入先をみんな電力に切り替えることをお勧めします。